

議題 3. 平成 23 年度事業計画（案）

I. 総務会

1. 委員会の開催予定
第 1 回 平成 24 年 4 月 平成 24 年度理事会の議題調整等
以降、理事会の開催に合わせ、概ね 2 か月に一回程度開催する。
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 平成 22～24 年度中期重点事業（目標）について、平成 25 年度総会に向けて総括に入る。
 - 2) 下記について、第 83 回総会の決議に従って規定改正を行う。
 - (1) 平成 26 年度以降の正会員 A の年会費について
（旧正会員 B に関する施行方法）
 - (2) 平成 26 年度以降の総会運営について
 - 3) 下記の受託事業について見直しを図る。
 - (1) 公共図書館向け研修の自主事業化
 - (2) 診療ガイドライン作成支援事業の絞り込み
 - 4) 平成 23 年度評議員会と地区会事務局連絡会議で出された意見に対処する。
 - (1) 各委員会の業務紹介の作成
 - (2) 会員の義務と権利の明確化と広報
 - 5) 国際交流委員会（仮称）を中心に Medical Library Association（MLA）等海外団体との連携を図る。
 - (1) MLA との提携と MLA '13（2013 年 5 月ボストン）への参加奨励
 - (2) 韓国医学図書館協議会（KMLA）との交流の在り方の協議
 - 6) 日本医書出版協会（JMPA）との協議を継続する。
 - 7) 日本薬学図書館協議会（JPLA）等、関連団体との事業及び組織連携を強化する。
 - 8) 東日本大震災復興支援について、新しい活動を検討する。
 - 9) その他、理事会及び各委員会活動に関する検討、意見調整を行う。

II. 企画・調査

1. 委員会の開催予定
 - 第 1 回 7 月 年間事業の策定と実施内容の調整
 - 第 2 回 11 月 年間事業の進捗状況の確認と各種審議
 - 第 3 回 3 月 年間事業のまとめと改善事項の検討
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 第 83 次加盟館統計の発行
 - 6 月 データ提出依頼
 - 9 月 完成版の協会ホームページへの掲載
 - 2) 平成 63 回重複雑誌交換事業
 - 7 月 データ提出
 - 10 月 データの協会ホームページへの掲載

- 11-12月 交換
- 12月 実績報告書提出
- 3) 「要覧 2012」の発行
 - 4-7月 原稿提出依頼
 - 9月 発行（印刷版、ホームページ版）
- 4) 会員略称・記号・番号の新設定

会員増加に伴い必要となっている新設定と設定方法のルールを、会員への現状調査をした上で作成する。

 - 5月 アンケートの実施
 - 6月 アンケートの集計・分析
 - 8月 新設定案・設定方法の作成
 - 10月 新設定案・設定方法の提出
- 5) 年間目標

前年度行った担当3事業についてのアンケート調査の結果を、本年度事業に反映させる。

Ⅲ. 機関誌「医学図書館」編集

1. 委員会の開催予定

第1回	平成24年6月	各号の進捗状況と次号の検討
第2回	平成24年9月	同上
第3回	平成24年12月	同上
第4回	平成25年3月	同上
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 機関誌の定時発行（発行予定：59巻2号から60巻1号）
 - 2) 編集システムの改修
 - 3) 任期満了に伴う新委員の補充
 - 4) J-STAGE へのカレント掲載（J-STAGE システム改修後実施）
 - 5) Journal@rchive 事業の際作成された、医学図書館誌全データの活用

Ⅳ. 出版

1. 委員会の開催予定

年1～2回を予定（時期未定）
2. 活動計画と年間目標
 - 1) 「医中誌 Web の使い方」（仮題）を刊行する。（継続）
 - 2) 「医学図書館員のための統計学入門」（仮題）を刊行する。（継続） 著者 緒方裕光
 - 3) 「やってみよう 図書館での医療・健康情報サービス」を刊行する。（新規）
 - 4) 相互利用便覧の Web 版を、内容の再確認後公開する。
3. その他

委員会メンバーの補充が必要である。

V. 広報、ホームページ担当ワーキンググループ

1. 委員会の開催予定
第1回 11月 予定内容 活動計画、新規コンテンツ等について
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 協会案内パンフレットの更新について引き続き作業を進める。
 - 2) JMLA ロゴの商標登録について、さらに検討を進める。
 - 3) JMLA ホームページの定期更新を不断に行う。

VI. 雑誌

1. 委員会の開催予定
第1回 6月 交渉進捗確認
第2回 8月 コンソーシアム説明会準備
第3回 2月 コンソーシアム交渉、説明会の反省と次年度活動スケジュール立案
2. 事業計画と年間目標
 - 1) コンソーシアム提案交渉 JPLA 雑誌問題検討委員会と合同で、出版元・代理店と平成 25 年契約に向けたコンソーシアム提案の交渉を行う。
 - 2) コンソーシアム提案の充実 病院向け提案、日本語資料の提案、保健医療領域に特化したコンソーシアム提案の充実を図る。
 - 3) コンソーシアム説明会の開催 JPLA 雑誌問題検討委員会と合同で、電子ジャーナル・コンソーシアム説明会を東京と京都で開催する。
 - 4) 他コンソーシアムとの連携 他コンソーシアムの動向を注視するとともに、必要に応じて、情報交換や協力活動を図る。
 - 5) 分担購入・分担保存の見直し 分担購入・分担保存のあり方について検討を行う。

VII. 教育・研究

1. 委員会の開催予定
第1回 5月 年間計画と業務分担、研修会マニュアル改訂
第2回 7月 日本薬学図書館協議会連携事業、図書館総合展フォーラム企画
第3回 9月 奨学基金規程
第4回 12月 研修会マニュアル改訂、助成申請審査、来年度の助成募集
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 日本薬学図書館協議会との合同委員会開催（事業連携）
 - 2) 第19回医学図書館員基礎研修会（東海地区）
 - 3) 第19回医学図書館研究会・継続教育コース（関東地区）
 - 4) 第14回図書館総合展フォーラム
 - 5) 第2回地域連携シンポジウム開催（日本薬学図書館協議会共催）
 - 6) 研究助成および海外研修助成募集

- 7) 研修会マニュアル改訂
- 8) 奨学基金に関わる事業の運用策定
- 9) 専門職能力開発プログラム構築への協力連携
- 10) 健康情報サービス研修事業の推進

3. その他

専門職能力開発プログラム構築と、それに連動した研修プログラムの検討について、認定資格運営委員会、専門職能力開発プログラム推進委員会と連携しながら事業を進める。

平成 22～23 年度に受託事業の一環で、ワーキンググループを組織して協力していた健康情報研修サービス事業は、平成 24 年度から協会の自主事業となるが、今後も継続して事業推進を行う。

Ⅷ. 認定資格運営

1. 委員会の開催予定

- | | | |
|-------|------|--------------|
| 第 1 回 | 6 月 | 委員長選任、年間計画ほか |
| 第 2 回 | 9 月 | 第 18 回認定資格審査 |
| 第 3 回 | 12 月 | 事業報告・計画ほか |
| 第 4 回 | 2 月 | 第 19 回認定資格審査 |

2. 事業計画と年間目標

1) 申請募集と認定審査

平成 24 年 7 月に第 18 回、平成 25 年 1 月に第 19 回申請募集に合わせ、約 1 か月前から申請広報を、それぞれ 9 月および 2 月の会合で審査を行う。

2) プロモーショングッズの作成と配布

資格の社会的認知度向上のためのプロモーショングッズの作成、取得者への配布を行う。

3) 「活用の手引き」の普及

取得者による広報支援のための「活用の手引き」を協会ホームページに掲載して普及させる。

4) 業務分掌の共有

認定資格運営に関わる当委員会、事務局間の業務分掌を明確にするための明文化など、円滑な運用に向けた基盤整備を進める。

5) 専門職能力開発プログラム実現への協力

同プログラム推進委員会の検討結果を踏まえ、将来的な認定資格制度の事業体制を提案する。

3. 教育・研究、認定資格運営委員会の連携

1) 研修プログラムの企画や広報時の認定資格要件やポイント数の確認など、個別の案件については両委員長と担当理事とが調整を行い連携を保つ。

2) 連携にかかわる長期的な案件については、専門職能力開発プログラム推進委員会または後継の組織・担当者との検討結果を随時把握する。

Ⅸ. 専門職能力開発

1. 委員会の開催予定

- 第1回 6月
- 第2回 9月
- 第3回 12月

2. 事業計画と年間目標

1) 専門職能力開発プログラム案の検討と作成

平成25年度総会での承認を目標に検討と作業を行う。プログラム作成は、各地区と会員への説明を行うと共に議論を深めながら進める。

2) コア・カリキュラム開発

医学図書館員基礎研修会に代わるカリキュラムを定めるために、講師候補などの検討を行う。

3) 職能団体としての倫理規定の策定

別途ワーキンググループを組織して検討を行う。

3. その他

専門職能力開発プログラムの作成にあたり、会員間の議論をフィードバックさせ、認定資格運営委員会、教育・研究委員会と連携して行う。

X. 受託事業－1

1. 委員会の開催予定

委員会として会議を持たず、総務会で全体を統括する。

2. 事業計画と年間目標

1) 診療ガイドライン作成支援－診療ガイドラインワーキンググループ

※X-2. 事業計画案を参照のこと。

2) 研修・講義受託事業

(1) 公共図書館向け研修を受託事業から JMLA の自主事業に変更する。

(2) 年度内に1～2回程度の開催を目標とする。

※教育・研究委員会の事業計画案を参照のこと。

3) 医学中央雑誌刊行会からの受託事業

(1) 「一般の方への医中誌 Web の提供についての調査」を継続する。

(2) 「医中誌 Web. Version 5. の Web チュートリアル作成」を継続する。

3. その他

引き続き、総務会を担当委員会とし、それぞれの事業にワーキンググループや研究班、リーダー会を組織して活動する。

なお、JMLA の社会的・学術的活動の普及、会員のスキルアップ、収入の安定化などの目的はある程度達成されているが、そのために会員への負担が増大することのないよう、事業内容の見直しを図る。

X. 受託事業－２ 診療ガイドラインワーキンググループ

1. 委員会の開催予定
 - 第1回 6月 WG委員会及び研修（文献検索講習上級）
 - 第2回 12月 リーダー会
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 年間受託10件～15件を目標とする。
 - 2) 文献検索講習会上級をステップアップし、サーチャー＋リーダーを育成する内容とする。
 - 3) ガイドライン受託条件の見直しを図る。
 - 4) CQと検索式のデータベース化を検討する。
3. その他
リーダーを増員する。そのため診療ガイドライン委員会への出席者を増やし、リーダー経験を積む機会とする。

XI. 国立ヘルスサイエンス情報センター

1. 委員会の開催予定
 - 第1回 8月 関連6者団体との協議に向けた議論
 - 第2回 11月 実際的な行動計画策定
 - 第3回 2月
委員会以外に関連図書館他団体との意見交換会を1回
「からだところの情報センター」ワーキンググループを1回
2. 事業計画と年間目標
 - 1) アンケート結果や「医学図書館」記事からの反響を踏まえて、会員からの情報を集約し得られた意見を整理する。必要があれば改めて意見収集をおこなう。
 - 2) 関連図書館他団体との意見交換会（計6団体）をおこなう。
 - 3) 委員会議論を踏まえて、国立国会図書館等との意見交換をおこなう。
 - 4) 上記の3点を踏まえて、設立に向けた具体的行動計画を立てる。
 - 5) 本活動内容に合致した研究助成を厚労科研などに申請（獲得）する。
 - 6) 「からだところの情報センター」ホームページを充実・維持する。
 - 7) 教育・研究委員会と連携し、「レファレンス協同データベース医学版」に相当する取り組みをおこなう。

XII. 組織・制度

1. 委員会の開催予定
 - 第1回 7月 会員種別と年会費について
会員の義務と権利について
 - 第2回 9月 会員の義務と権利について
 - 第3回 11月 議事要録、協会作成文書の形式の統一について

- 第4回 1月 「総会運営に関する細則」について
- 第5回 3月 平成25年度総会での審議事項について

2. 事業計画と年間目標

- 1) 新定款に基づく細則、規程の改正
- 2) 正会員BからAへと変更となった会員の平成26年度以降の年会費の移行
- 3) 会員の義務と権利の明確化
- 4) 本協会の活動に即した法人組織の在り方の提案
- 5) 議事要録、協会作成文書の形式の統一

XIII. 部会 病院部会

1. 幹事会の開催予定

- 第1回 5月 幹事の補充と役割分担、平成24年度活動の打ち合わせ
- 第2回 2月 見学会打ち合わせ、次年度活動計画策定

2. 事業計画と年間目標

- 1) 病院見学会
平成25年2月 倉敷中央病院を予定する。
- 2) 定例会
総会時に定例会を開催する。
- 3) 第84回総会分科会
次年度分科会の企画を提案する。